

1997年生体運動合同班会議の御案内

生体運動合同班会議のプログラムが決まりましたのでお届け致します。間違いなどございましたら、至急お知らせ下さい。

世話人
児玉孝雄

【発表会】

日時：1997年1月6日（月）～8日（水）
会場：千里ライフサイエンスセンター 5階 ライフホール
大阪府豊中市新千里東町1-4-2 TEL 06-873-2010, FAX 06-873-2011
参加費：会議参加受け付けの時に頂きます。
一般参加者：2,000円
学生：1,000円

【班員班友による会議】

日時：1997年1月7日（火）18:00～18:30
場所：ライフホール
会場等の都合により、懇親会の前に講演会場で行わせて頂きます。弁当は用意いたしません。今後の会議の運営等について話し合いますので、班員・班友以外の方も出来るだけ多数参加して下さい。

【懇親会】

日時：1997年1月7日（火）18:30～20:30
会場：千里ライフサイエンスセンター 6階 展示場
会費：会議参加受け付けの時に頂きます。
一般：6,000円
学生：4,000円

前回の案内状で懇親会に「参加」として御回答された方で、都合により参加できなくなった方は12月20日（金）までにお知らせ下さい。それまでにお知らせがない場合は出席できなくても会費を頂きます。新たに参加を希望される方も同日までに御連絡下さい。

連絡先：820 飯塚市川津680-4
九州工業大学情報工学部 生物化学システム工学科
児玉 孝雄
TEL：0948-29-7835
FAX：0948-29-7801
E-mail：undohan@bse.kyutech.ac.jp / kodama@bse.kyutech.ac.jp

【付記】

●発表について

1. 発表は交代に要する時間も含めて10分です（講演7分、討論3分）。時間を厳守して下さい。
2. 発表会場には、通常のプロジェクター、OHP、ビデオ（VHS）を各1台用意致します。ビデオ使用予定の方は12月20日（金）までに連絡して下さい。発表申込時にビデオ使用を希望された方も確認のため連絡して下さい。また、休憩、昼休み時間を利用して担当者と十分打ち合わせをして下さい。
3. 発表者の方は次の講演の司会をして下さい。

●御宿泊のお世話は致しません。

1月6日(月) 13:00-15:50

- 1 13:00-13:10 コケ減数分裂パターンと細胞質分裂装置：一列に四分割されるヒメジャゴケの場合
嶋村正樹, 出口博則, ○峰雪芳宣(広島大・理・生物科学)
- 2 13:10-13:20 卵に由来する中心体の星状体形成能の比較・検討
○佐伯知明, 浜口幸久(東工大・生命理工・基礎)
- 3 13:20-13:30 星状体形成における51-kDa Gタンパク質の役割
○酒井彦一, 辻村有紀, 和田康子, 丸野綾子, 菅原奈月, 佐藤真美子, 大隅正子(日本女子大・理)
- 4 13:30-13:40 タキソール処理プロトプラストにおける表層微小管とセルロース合成
馳澤盛一郎(東大・理・生物)
- 5 13:40-13:50 α B-クリスタリンセンス・アンチセンス発現C6細胞における微小管ネットワーク
○跡見順子, 新井秀明(東大・院・生命環境), 岩城亨, 岩城淳子(九大・医)
- 6 13:50-14:00 微小管結合蛋白質MAP4の血清刺激依存的リン酸化について
○北澤秀文, 岸本健雄, 久永真市, (東工大・生命理工), V.Srsen(チェコ), 室伏広(東大・院)
- 7 14:00-14:10 MAP4微小管結合部位のサブドメイン(プロリッチ部位, AP配列部位, テール部位)の機能
○徳染清孝, 香月美穂, 中川裕之, 小谷享(九工大・生化学システム)
- 8 14:10-14:20 プロテアソームによる軸系ダイニン軽鎖リン酸化の制御
○稲葉一男(東大・理・臨海), 森沢幸子(聖マリアンナ医大), 森沢正昭(東大・理・臨海)
- 9 14:20-14:30 ウニ鞭毛軸系 Sky-chain-1 タンパク質の微小管結合性
○笠原一寿, 横田悦男1, 稲葉一男2, 森沢正昭2, 馬淵一誠, 上村慎治(東大・総合文化・生命環境, 1姫路工大・理, 2東大・臨海)
- 10 14:30-14:40 急激なATP濃度上昇に伴うウニ精子除膜鞭毛モデルの運動
○谷知己, 上村慎治(東大・総合文化・生命環境)
- 11 14:40-14:50 繊毛の有効打方向に及ぼすサイクリックヌクレオチド誘導体の効果
○倉橋章太郎・野口宗憲(富山大・理・生物圏)
- 12 14:50-15:00 運動中のウニ精子鞭毛軸系微小管滑り速度に対するカルシウムと粘度の効果
○坂内博子, 真行寺千佳子(東大・院理・生物科学)
- 13 15:00-15:10 超活性化したハムスター精子鞭毛の温度依存的な運動の変化
Y. Si, ○奥野誠(東大・生命環境)
- 14 15:10-15:20 鞭毛の屈曲機構を模倣した水中推進機構に関する研究
○柴崎佳秋, 小林俊一, 森川裕久(信州大学・繊維学部・機能機械学科)
- 15 15:20-15:30 繊毛運動系の安定性からみた2種テトラヒメナ間の比較
○中村健一(広島女子大学・健康科学), 洲崎敏信(神戸大・生物)
- 16 15:30-15:40 Sliding disintegration を起こしたウニ精子鞭毛軸系上の蛍光微小管の運動
○山田章, 山家高子, 榊原斉, 大岩和弘, 中山治人(通総研・関西先端研センター)
- 17 15:40-15:50 キネシン頭部のねじれについての解析
○山本孝, 豊島陽子, (東大・院・総合文化)

16:10-19:00

- 18 16:10-16:20 ATP存在下でのキネシンの微小管への協同的結合
○武藤悦子(科技振), 柳田敏雄(阪大基礎工・医, 科技振)
- 19 16:20-16:30 ミオシンクロスブリッジのストレイン依存ATP分解キネティクスの解析
○茶園茂1, 白川伊吹1, Clive R. Bagshaw2, 杉晴夫1(1帝京大・医・生理, 2Leicester大・生化)
- 20 16:30-16:40 骨格筋単一ミオフィブリルの構造と収縮性
○安池俊博, 若山純一, 由利希良, 山田武範(東京理大・理・物理)
- 21 16:40-16:50 筋線維の蛍光標識-----トリニトロフェニルAMPのミオシン頭部における結合部位
○藤田卓, 縄田智子, 山田和廣(大分医大・医・生理)
- 22 16:50-17:00 アクトミオシンゆらぎの伝播作用
○羽鳥晋由, 田村真理, 本多元, 松野孝一郎, (長岡技科大・生物系)

- 23 17:00-17:10 貝ミオシン巨大繊維に沿って生じるアクチン滑り運動の揺らぎ解析
○今福泰浩(九大・理・生物), 山田章(通総研), 豊田将史, 太和田勝久(九大・理・生物)
- 24 17:10-17:20 2種類の基質存在下におけるアクチン/ミオシン滑り運動の特徴: タンパク質分子摩擦モデル
今福泰浩, ○太和田勝久(九大・理・生物)
- 25 17:20-17:30 熱揺動力を受けながら作用するエネルギー変換系の効率について
○関本謙(京大・基研)
- 26 17:30-17:40 ミオシンと相互作用中のアクチンフィラメントの回転熱揺らぎ
○津田祐里1, 柳田敏雄2(大阪大医学部 1麻酔学, 2第一生理学)
- 27 17:40-17:50 ミオシン分子内エンタルピー効果/エントロピー効果の競合と複合分子機能について
○鈴木誠(東北大工/融合研), 児玉孝雄(九工大・生化システム)
- 28 17:50-18:00 ヒト巨核芽球系細胞株MEG-01細胞の分化成熟におけるサイトカインの効果
○竹内喜久子, 植田敦子(大阪府立看護大学)
- 29 18:00-18:10 肉芽組織の収縮
○後藤多佳子, 弥永富美, 大槻磐男(九大・医・臨床薬理)
- 30 18:10-18:20 筋ジストロフィー症DMD患者とdyマウスの発症のタイミングは一致する
○戸塚武, 渡辺貴美, 佐久間邦弘, 浦本勲(愛知県コロニー研究所)
- 31 18:20-18:30 速筋-遅筋キメラ筋繊維は生体内に存在する
中田和人, 宮崎淳一, 平林民雄(筑波大・生物)
- 32 18:30-18:40 C-蛋白質アイソフォームの発現-哺乳類とトリとの違い
倉沢真理子, 松田史子, 佐藤成樹, ○大日方昂(千葉大・理・生物)
- 33 18:40-18:50 分化形質を維持した血管平滑筋細胞株の確立
○増田毅1,2, 山口英樹2,3, 松田謙2, 勝木元也4, 工藤佳久5, 大見和宏1, 野々村禎昭2,6(1東大医1薬理, 2ベッセルリサーチ, 3上智大理工, 4東大医科研, 5東薬大, 6帝京大医)
- 34 18:50-19:00 新規マウス大動脈平滑筋細胞株の性質--レセプターの発現を中心に--
○大見和宏(東京大・医・薬理), 廣瀬謙造(東京大・医・薬理), 野々村禎昭(帝京大・医), 飯野正光(東京大・医・薬理)

1月7日(火) 9:00-10:30

- 35 9:00- 9:10 平滑筋ミオシン必須軽鎖の交換
○加藤剛志, 沼田卓也, 小西薫, 矢澤道生, (北大・院・理)
- 36 9:10- 9:20 ミオシン軽鎖ホスファターゼ阻害蛋白質のcDNAクローニングと平滑筋収縮に対する影響
○江藤真澄, 仙葉慎吾, 盛田フミ, 矢澤道生, (北大・院・理), 北澤俊雄(Georgetown Univ.)
- 37 9:20- 9:30 リン酸化ミオシン調節軽鎖は, 分裂細胞の「収縮環」に局在する
村井則雄, 細谷浩史(広島大・理・生物科学)
- 38 9:30- 9:40 新しく同定されたミオシン調節軽鎖キナーゼ, MAPKAPキナーゼ2
細谷浩史, 小松訓(広島大・理・生物科学)
- 39 9:40- 9:50 牛胃155kDaタンパク質(MLCK, ライオトニン)の調製
江橋節郎(生理学研究所)
- 40 9:50-10:00 平滑筋ミオシン軽鎖キナーゼのアクチン結合性とアクチン・ミオシン相互作用の阻害作用
○葉麗虹1, 早川晃一1, 岸博子1, 中村彰男1, 岡垣杜1, 小浜一弘1, 田中建志2, 今村道博3, 高木尚4(1群大・医, 2埼玉日赤, 3精神神経センター, 4東北大・理)
- 41 10:00-10:10 非リン酸化ミオシンに対する平滑筋ミオシン軽鎖キナーゼのミオシンATPase促進作用
○小浜一弘1, 葉麗虹1, 岸博子1, 中村彰男1, 田中建志2, 今村道博3, 高木尚4(1群大・医, 2埼玉日赤, 3精神神経センター, 4東北大・理)
- 42 10:10-10:20 横隔膜骨格筋における脳型リアノジン受容体の性質の検討
○村山尚, 小川靖男(順天堂大・医・薬理)
- 43 10:20-10:30 原生動物ディディニウムとパラメシウムの捕食, 非捕食時の細胞内カルシウム濃度上昇の可視化
○岩橋好昭, 加藤薫(ウズホール海洋研究所), 菊山宗弘(放送大・生物), 浅井博(早稲田大・理工)

10:40-12:00

- 44 10:40-10:50 ニテラ節間細胞遊離カルシウムの濃度変化と伝播速度
○石上三雄, 渡邊絹代, 山藤靖子 (滋賀大・教育・生物)
- 45 10:50-11:00 車輪藻ミオシンの細胞内局在
浜田朗子, 檜山拓, ○山本啓一 (千葉大・理・生物)
- 46 11:00-11:10 タバコ培養細胞BY-2には少なくとも2種類のミオシンが存在する。
横田悦雄¹, 湯川千春 (澤田棉行), 園部誠司¹, 武藤尚志 (名古屋大・分子応答センター), 新免輝男¹ (1姫路工大・理・生命)
- 47 11:10-11:20 真正粘菌 *Physarum polycephalum* の耐乾燥体における細胞骨格タンパク質の解析
○古橋潔, 石上三雄 (滋賀大・教育・生物)
- 48 11:20-11:30 ショウジョウバエのアクチン突然変異
○最上要 (東大・理)
- 49 11:30-11:40 アクチンを結ぶ
○荒井康治, 安田涼平, 宮田英威, 木下一彦 (慶大・理工・物理)
- 50 11:40-11:50 Native thin filament配向ゾルX線回折像のトロポニンに由来する反射
○牧野浩治 (名古屋大学, 松下国際研), 小田俊郎, 山下一郎, 難波啓一, 前田雄一郎 (松下国際研)
- 51 11:50-12:00 トロポニン、トロポミオシンの結晶化と結晶構造の解析
○前田雄一郎, 武田壮一, 西條由見子, 小林智芳, 山本和弘, Dmitry Vassilyev, 佐野健一 (松下国際研), 谷口寿章 (藤田保健衛生大)

13:00-15:00

- 52 13:00-13:10 トロポミオシンのNC相互作用の強さについて
○佐野健一, 前田佳代, 前田雄一郎 (松下国際研), 谷口寿章 (藤田保健衛生大)
- 53 13:10-13:20 1分子, 1フィラメントからの蛍光エネルギー移動
三宅弘行¹, 石井由晴³, 和沢鉄一¹, 船津高志³, 柳田敏雄^{1,2,3} (1阪大基礎工, 2医, 3科技振)
- 54 13:20-13:30 Z線におけるコネクチンと α -アクチニンとの結合
○大塚裕司, 矢島浩彦, 木村澄子, 丸山工作, (千葉大・理・生物)
- 55 13:30-13:40 筋原繊維Z線の脂質構成について
島田謙一郎, ○高橋興威 (北大・農・畜産)
- 56 13:40-13:50 800K-ネブリンとアクチンの相互作用
○黒田正明 (島根大・生物科学)
- 57 13:50-14:00 キャッチ筋のバラミオシンフィラメントの構造比較
○松野アキラ, 奥田雅史 (島根大・生科・生物)
- 58 14:00-14:10 貝柱筋タンパク質Myonin (Myomodulin)
○上堂地美佳, 矢沢洋一 (北教大旭川校・理科教育)
- 59 14:10-14:20 ミオシン機能部位のアラニン・スキヤニング
○須藤和夫, 大倉玲子, 島田孝志, 飛鳥川英郎, 佐々木直哉 (東大・院・総合文化)
- 60 14:20-14:30 クライオ電子顕微鏡法を使ったミオシン単一分子の可視化
○安永卓生, 橋場周平, 上野哲, 若林健之 (東大・理・物理)
- 61 14:30-14:40 アクチンモノマー・ミオシン頭部複合体のX線溶液構造: 原子モデルとヌクレオチドの効果
○荒田敏昭 (阪大・院理), 木村俊一, 岩崎典生, 杉本泰伸, 武澤康範, 浜中俊明, 若林克三 (阪大・基礎工)
- 62 14:40-14:50 アクト-HMMの急速凍結レプリカからの3次元像再構成
○片山栄作 (東大・医科研), 馬場則男 (工学院大・電気工学)
- 63 14:50-15:00 ミオシンの2つの頭部ABのプロナーゼによる分解
村井晋 (東邦大・医), ○井上明男 (阪大・理)

15:20-18:00

- 64 15:20-15:30 生物分子モーター機能の1分子計測
柳田敏雄(阪大基礎工, 医, 科技振)
- 65 15:30-15:40 ミオシンS1の1分子捕捉と力測定
喜多村和郎¹, 徳永万喜洋³, 岩根敦子¹, 齋藤究³, 柳田敏雄^{1,2,3} (1阪大基礎工, 2医, 3科技振)
- 66 15:40-15:50 蛍光性ATPアナログを用いた単一分子酵素反応計測: ミオシンATPaseへの応用
○大岩和弘, M.Anson, J.F.Eccleston, J.E.T.Corrie, 山田章, D.R.Trentham, 中山治人(通総研・関西先端研セ, *National Institute for Medical Research)
- 67 15:50-16:00 アクトミオシンモーターの1分子生理現象論と構造学の結合
○安藤敏夫, 網谷一郎, 瀬戸勝, 坂本武史(金沢大・理・物理)
- 68 16:00-16:10 温度パルス顕微鏡によるアクトミオシン分子モーターの熱変調画像化
加藤宏一(ニコン), 西坂崇之(学振), 伊賀隆(日本ゼオン), 木下一彦(慶大・理工), ○石渡信一(早大・理工)
- 69 16:10-16:20 F1-ATPaseの回転
○安田涼平¹, 野路博行², 木下一彦¹, 吉田賢右² (1慶大・理工・物理, 2東工大・資源化学研)
- 70 16:20-16:30 原索動物のトロポニンの遺伝子構造
○高木尚, 湯浅創(東北大・院理・生物)
- 71 16:30-16:40 アカザラガイTnCのsites IIおよびIV変異体の性質
○尾島孝男, 西川真史, 井上品, 西田清義(北大・水・化学)
- 72 16:40-16:50 線虫トロポニンC突然変異体の解析
○寺見浩美, 香川弘昭(岡山大・理)
- 73 16:50-17:00 線虫トロポミオシン突然変異体の解析
宅和京子, ○香川弘昭(岡山大・理)
- 74 17:00-17:10 新生ウサギ心筋収縮のpH感受性におけるトロポニンIの役割
○森本幸生, 後藤多佳子, 大槻磐男(九大・医・臨床薬理)
- 75 17:10-17:20 トロポニンI isoform およびそのキメラのactin filamentへの取り込みについて
○豊田直二, 鶴沢秀徳, 嶋田裕, (千葉大・医・一解)
- 76 17:20-17:30 トロポミオシン-トロポニンのThin filament上での動き
三木正雄¹, 萩原明彦¹, 木村裕之¹, 小林智芳², 佐野健一², 前田雄一郎² (1福井大学工学部, 2松下電器国際研)
- 77 17:30-17:40 カルポニンペプチドの構造と機能
○中充子, 三野照正, 田中利男(三重大・医・薬理)
- 78 17:40-17:50 架橋アクチンによる調節繊維が示す化学力学脱共役
○本多元, 田上信志, 田中秀幸, 後藤智明, 羽鳥晋由, 松野孝一郎(長岡技科大・生物)
- 79 17:50-18:00 筋収縮制御の協同性を大きくする変異アクチン
○佐々木仁, 佐伯喜美子(東大・理・物理), 須藤和夫(東大・教養), 若林健之(東大・理・物理)

1月8日(水) 9:00-10:30

- 80 9:00- 9:10 平滑筋ミオシン活性部位の人工変異
○尾西裕文, Manuel F. Morales¹, 孤嶋慎一郎, 加藤一夫, 藤原敬己(国立循環器病センター・形態, 1Univ. of the Pacific)
- 81 9:10- 9:20 遺伝子工学的に作成した一つ頭粘菌ミオシンによるアクチン滑り運動速度
○伊藤光二, 劉熊, 上田太郎(工技院・融合研)
- 82 9:20- 9:30 細胞性粘菌の変異ミオシンのシャックモアクチンケーブル上の滑り特性
○大石昇¹, 為安司², 石井直方³, 須藤和夫⁴, 杉晴夫⁵ (1帝京大・医・中央RI, 2聖マリアンナ医大・生理, 3,4東大・教養, 5帝京大・医・生理)

- 83 9:30- 9:40 コイ速筋ミオシンモーターの構造と機能
○平山泰, 中谷操子, 渡部終五 (東大・院農・水圏生物), 茶園茂 (帝京大・医・生理)
- 84 9:40- 9:50 骨格筋ミオシン軽鎖アミノ末端部分とアクチンの結合
○宮西隆幸, 矢島エイ子, 毎田徹夫 (長崎大学・医・生化学)
- 85 9:50-10:00 ミオシン頭部 Trp-510 周辺の疎水性領域のモーター機能への関わり
○平塚寿章 (旭川医大・化学)
- 86 10:00-10:10 アクトミオシン相互作用に対するアルコールの影響
○小松英幸, 重岡多恵子, 菅野毅 (九州工大・情報工・生化), 鈴木誠 (東北大・工), 児玉孝雄 (九州工大・情報工・生化)
- 87 10:10-10:20 アクトミオシン系運動に於けるエネルギー変換のメカニズム
○藤目杉江 (名大・院・理), 保住哲 (名市大・医)
- 88 10:20-10:30 太い線維形成機構: 4.3 nmのaxial staggerの仕組み
○芥川亨, 綱島良祐, 岡田真一 (京大・化研)

10:40-12:00

- 89 10:40-10:50 コイ速筋レモロミオシンの熱力学的構造解析
○柿沼誠, 中谷操子, 渡部終五 (東大・院農・水圏生物), 大井龍夫 (京都女子大・家政), 前田佳代 (松下国際研)
- 90 10:50-11:00 ミオシンの光化学的切断によるフィラメント形成の阻害と切断部位の同定
佐藤和人, ○岡本洋, (室蘭工大・応化)
- 91 11:00-11:10 ラット精巢の乳酸脱水素酵素-X (LDH-X) 活性に及ぼす走運動トレーニングの影響
○柴佳保里, 山口正弘 (順天堂大・スポ健・栄養生化), 刈間理介 (東大・医・救命救急), 亀山恒夫 (順天堂大・医・生化), 小沢智, 加納和孝 (東大・医・栄養)
- 92 11:10-11:20 メダカ卵初期胚に見られる律動性収縮運動
御橋廣真 (名大・院・多元数理)
- 93 11:20-11:30 テトラヒメナEF-1 α は分裂溝に局在する
○倉沢靖博, 沼田治 (筑波大・生物科学)
- 94 11:30-11:40 テトラヒメナのF-アクチン結合蛋白質
○渡辺充司, 沼田治 (筑波大・生物科学), 渡辺良雄 (上武大)
- 95 11:40-11:50 哺乳類脳由来 Triton 不溶性膜面分中のアクチン調節タンパクの解析
○船津宣雄, 宗川吉洋, 前川昌平 (京都工繊大・応用生物)
- 96 11:50-12:00 局所麻酔薬による α -actininのアクチンゲル化作用増強
○加世田国与士, 森健一, 小松英幸, 児玉孝雄 (九州工大・情報工・生化)

13:00-16:00

- 97 13:00-13:10 低イオン強度の稀薄溶液中のアクチンのカラム分画
○一海孝光 (愛知県立芸大)
- 98 13:10-13:20 ニワトリ砂のう平滑筋のフィラミン類似タンパク質
○立川雅司, 大橋一世 (千葉大・理・生物)
- 99 13:20-13:30 コフィリンと結合したアクチン線維と共存するタンパク質の解析
○岡田香子, 大日方昂, 阿部洋志 (千葉大・理・生物)
- 100 13:30-13:40 ウニ卵の新しいアクチン繊維切断タンパク質ABP40
織田恵, 吉田年美, 馬淵一誠 (東大・理・生化, 東大・絵文・生命)
- 101 13:40-13:50 心筋分化・筋原線維形成におけるN-カドヘリンの役割
○今中・吉田恭子, 吉田利通 (三重大・医・病理), Karen A. Knudsen (Lankenau Med. Res. Cent.), Kersti.K.Linask (Univ. Med. Dent. New Jersey)

- 102 13:50-14:00 ジストロフィンC末端部の高発現系の構築と精製
○加藤有介, 西山真(東大生物生産工学セ), 野口悟, 小沢二郎(国立精神神経セ・神経研), 田之倉優(東大生物生産工学セ)
- 103 14:00-14:10 細胞運動におけるdystroglycanの役割
○細川浩, 二宮治明, 清水久雄, 眞崎知生(京大・医・生体制御医学)
- 104 14:10-14:20 ERM蛋白質が結合する一群の膜蛋白質
○米村重信(京大・医・分子細胞情報)
- 105 14:20-14:30 細胞骨格分子ゲルのosmotic、shear stress 応答機構
○伊藤忠直(京大理・生物物理), Jay X. Tang, Paul A. Janmey(ハーバード医科大学)
- 106 14:30-14:40 タリンによる膜小胞の穿孔と開放端の形成
斉藤彰彦, ○滝口金吾, 宝谷絃一, (名古屋大学 理学研究科生命理学)
- 107 14:40-14:50 アメーバ仮足の突出と共役した細胞外基質の小胞からの分泌
○瀬崎博美, 萩原哲(阪大・院理・生物科学)
- 108 14:50-15:00 クラミドモナスのアクチン欠損株における接合管の形成異常
○箕浦高子1, 小原昭夫2, 広野雅文2, 神谷律2(1名大・理・分子生物, 2東大・院理・生物科学)
- 109 15:00-15:10 律動的伸縮刺激に対する細胞内ストレスファイバーの再配置反応
○武政徹, 杉本啓治, 山下和雄(日本医大・解剖第一)
- 110 15:10-15:20 培養細胞ストレスファイバーの単離, 構造と収縮能
○狩野由美子, 加藤一夫, 増田道隆, 藤原敬己(循環器病センター研究所)
- 111 15:20-15:30 ウニ卵のアメーバ運動についての新知見
馬淵一誠1, 浜口幸久2(1東大・総文・生命, 2東工大・生命理工)
- 112 15:30-15:40 ユーグレナの細胞変形運動が細胞膜内タンパク質の構造変化によりひきおこされている可能性について
○洲崎敏伸(神戸大・理・生物), 村田和義(松下電器国際研)
- 113 15:40-15:50 電気融合細胞の超高压電子顕微鏡による立体観察
○荒金宏臣, 有井達夫*, 谷口美恵子(名大理, 生理研*)
- 114 15:50-16:00 赤芽性細胞の脱核過程における細胞骨格蛋白質の役割
○大室弘美(東大・医・薬理), 向田政博(防衛医大・法医), 森岡清和(都臨床研・腫瘍生化)